

颯田病院新病院 コンセプト

■地域に密着した「町のかかりつけ医」としてのサービスを提供する場として「明るく」、「清潔」で、「機能的」であること。患者さんに安らぎを与えられる病院づくりを行います。

配置

- ・ 患者さんにわかりやすいようにメインエントランスの正面に外来患者さん用の駐車場を設けています。
- ・ 1Fは人工透析センターと接続しています。

外観

- ・ 国道 200 号線からわかりやすいように建物西側にメインエントランスを設けています。
- ・ 地域の方々から親しみを持っていただけるよう外壁はナチュラルなアースカラーとしています。
幅広い診療を行う「町のかかりつけ医」にふさわしい外観としています。

建物の構成

- ・ 機能に対応させ、フロア毎にわかりやすい構成・シンプルな動線としています。
1F：外来・救急・検査・放射線・・・人工透析センターと接続しています。
2F：回復期リハ病棟・リハビリテーションセンター
3F：一般病棟・手術室
4F：療養病棟
5F：管理・厨房他

施設の特徴

- ・ 外来診察は「待合」「診察」「検査」の各部門を明快にゾーン分けしています。
- ・ 3 診察室で 1 ユニットを構成する 5 つのユニット群は、患者さんのプライバシーを十分に確保し、医師、看護師の手厚い医療サービスが受けられるつくりとなっています。
- ・ 「受付」「診察待ち」「薬の受け取り」に合わせて、心地よい待合スペースを提供しています。
- ・ 2 階の西側に約 300 m²のリハビリテーションセンターを設けています。
3mの天井高さで明るく、のびのびとしたスペースを用意し、様々なリハビリメニューに対応できるようにしています。
- ・ 病棟は中央にスタッフステーション、それを取り巻くように南北に病室を設けています。
患者さんの様子に目が届きやすいような構成としています。
- ・ 長期の入院が予想される療養病棟は、和のテイストのインテリアとし、家庭的な雰囲気を演出しています。